一般質問

民主

生活者起点による自立と創造のまちづくりを目指して

Q:コミュニティーの区分について。

A:まちづくり会議をコミュニティーの中心と考えたい。

Q:納税者が市民税の1%を市民活動団体への支援として選択できる制度について。

A:市川市の事例を参考に研究する。

Q:習志野市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例施行後の検証について。

A:犯罪発生件数は年々減少している。引き続き、地域防犯活動の実施等に取り組む。

Q:エコ・ドライブについて。

A:公用車について積極的に取り組む。

Q:耐震診断および耐震改修への補助について。

A:国の動向等を踏まえ、市としても検討する。

Q:香澄交差点歩道橋へのエレベーターの設置について。

A:国に設置を要望する。

新社会党

税法改正で2900人が非課税から課税に

Q:税法改正で公的年金控除の縮小、68才以上の方の市民税の非課税措置が廃止された結果、非課税の人が課税されることになり、68・69才の方への医療費一部助成、寝たきり高齢者福祉手当、認知症高齢者介護手当が、受けられなくなる人が出るので改善を求める。

A:非課税から課税に変わる人は2900人。助成や手当を受けている人のうち約2割の人が受けられなくなる。それらの見直しは考えていない。（ボートピア建設の同意をやめることを求める。県道幕張・八千代線と京成線との立体化、実籾駅前県道の拡幅、旧習志野警察署前交差点信号サイクルの改善を要求）

Q:地域防災計画の見直しの中で犬・猫などペット対策についての考えは。

A:災害時における動物の救護の必要性は認めているので、防災計画に盛りこむよう17年度・18年度に検討する。

Q:津田沼小の学童室が児童の急増により大変手狭になっていることへの対策は。

A:津田沼小の余裕教室が使用できないかなど、今後学校と協議していく。

Q:学校給食における市内農産物使用の拡大について。

A:ニンジンをはじめ市内農産物の利用拡大に努める。

習志野政心会

市民の声を議会に反映させる最大会派

Q:財政健全化計画で明らかになった15億円の財源不足にどう対応するのか。

A:三月末に示された新地方行革指針に基づく集中改革プランを策定する中で対応する。

Q:集中改革プランをどのように策定していくのか。

A:庁内PTの改革推進リーダー会議において、民間活力の活用、事務事業の再編・整理、定員適正化計画等を総合的に計画し、策定していく。

Q:行政評価の成果について。

A:庁内分権の中で事業の取捨選択、優先順位化に有効活用している。

Q:習志野海岸整備について。

A:親水護岸を多くの市民に利用していただけるよう、アクセスの改善、看板の設置による周知に努める。今後海岸づくり会議を設置し、人工海浜など親しみやすい水辺づくり整備の早期実現に努める。

Q:防災体制の充実のため、自主防災組織の活性化について。

A:自主防災組織の組織率向上のため、共助への理解を深めていただけるよう周知に努める。地元に密着した消防団等との協力体制について、今後協議をすすめる。

Q:ビジネス支援図書の充実を。

A:産学官交流を通じ積極姿勢で臨む。Q:ドイツと国際交流を。A:今年はドイツ年、歴史も深く積極的にいく。Q:庁内の業務改善提案制度の拡充を。

A:匿名も取り入れた受容体制を作る。Q:情報メールの登録状況は。A:現在1千人。簡易登録体制を確立、今後に期待。

Q:特別児童扶養手当の支給停止者に対する改善を。A:負担の軽減を県に要望。Q:未成年被害者に配慮した防犯情報発信を。A:情報発信要綱を警察と確立したい。Q:鷺沼陸橋通りの大型車通行規制を。A:実現に向け警察と協議中。

真政会

バランスの取れた習志野をめざす

Q:本管布設工事費の個人負担が高いために、井戸水を使用している人の負担軽減を要望した。

A:状況によっては、一部を局が負担することも視野に入れ、申し込みがあった段階で、申し込み者と十分協議をする。

Q:実籾大日山、屋敷地区下水道整備の早期実施を要望した。

A:今年度は事業認可の取得実施設計業務委託を予定し、早期整備に向け取り組む。

Q:実籾本郷地域の計画道路の整備を強く訴えたが、残念ながら良い回答は得られなかった。今後も引き続き本郷地域の整備を訴える。

Q:JR津田沼駅北口交番設置については、習志野市、船橋市、警察の三者トップ会談を開き解決するよう要望した。

Q:実籾駅前商店街の中央の、墓地跡400坪の利用について、市の核となるような施設の建設計画を強く要望した。

公明党

時代の要請に応え得る存在に！

Q:ハミングロードの実施プランの策定状況を伺う。

A:総武線以北は16年度に策定しスタートした。以南は今年度策定する。

Q:自動体外式除細動器（AED）の導入を伺う。

A:今年度早々に藤崎・谷津分遣所の救急車2台に積載し、全救急車への配備を完了した。

Q:本市の大規模事故等の危機管理体制について伺う。

A:被害想定調査、防災計画見直しを行う中で大規模事故編として計画の中で位置付ける。

その他、地域問題として、実籾駅踏切、道路拡幅、長作交差点の改良について質問した。

Q:旧習志野陸軍学校跡地の毒ガス問題で、習志野市区域の調査はほぼ完了したが、安全宣言ととらえても良いか。

A:環境省の報告によると、習志野市域では有害物質は見つからず、この問題は幕引きとみてもいいでしょう。

Q:生活安全室ができ約一年、パトロールも定着したが学校の安全対策の状況は。

A:小学校、幼稚園に防犯機器を順次配備し、こども110番のコンビニ等の加盟店も増え、犯罪発生率も減っている。

Q:香澄民間保育所の開設は。

A:平成19年4月を目標とする。

Q:発達障害児支援が次世代行動計画の中に位置づけられたが、現場の声とのギャップはないか課題を整理・見直しし、ネットワークの充実等支援体制の強化を強く要望する。

Q:市税等のコンビニ納付は。

A:納付促進を図るため国保料から早期実現に向け取り組む。

Q:国道357号香澄交差点にエレベーター・エスカレーターの設置を強く求めるが。

A:千葉国道事務所に対し、エレベーターの設置を要請する。

日本共産党

第三中学校交差点の安全対策を!!

Q:袖ヶ浦団地2丁目側の角はふれあい橋のフェンスが歩道脇にあるために、視界がさえぎられ走行する自転車が見えないなど危険性が指摘されている。歩行者の安全を確保するために、視界の確保など歩道の改良やフェンスの改良などをする必要があると思われる。対策を伺う。

A:袖ヶ浦団地と歩道の境界には防音壁が設置されているため、必ずしも見通しのよい交差点とはなっていない。袖ヶ浦団地の管理者と協議をして安全対策について検討したい。

Q:安心安全のまちづくりのため、防犯灯の照度アップの方針はあるのか。

A:現在の防犯灯のうち520灯、72%は20ワット。これを32ワットの新型灯具に付け替える。

Q:学校の大規模改修事業が先送りになっている学校の安全対策は大丈夫か。

A:実花小ベランダの手すりは今年の夏休みまで実施。7中の美術室と準備室、音楽室の雨漏りは補修工事を実施。香澄小の渡り廊下のさびと腐食は夏休みに実施の予定。

Q:陸軍習志野学校跡地および陸上自衛隊習志野演習場の毒ガス調査はどうなるのか。

A:泉町地域は「日常生活において危険性がない」ことが確認された。今後、国の負担で、土地改変作業に併せて、環境調査を実施。毒ガス対応の防護服等も環境省で準備し、無料で貸し出す。習志野演習場南側の東習志野地域は3カ所の地下水を採取し、分析する。

Q:習志野演習場における徹底調査、特にボーリング調査を国に要求するよう求める。

習明会

谷津干潟のアオサ発生源解明と悪臭対策など要望

Q:シギ・チドリ類の世界有数の飛来地、谷津干潟でアオサが異常発生、腐敗して異臭を放ち、鳥のエサとなるゴカイ類が酸欠で死滅するなど問題多発である。対策はどうか。

A:環境省はプロジェクトチームを立ち上げるなど協力体制の中で、アオサの発生メカニズムを解明するため、今年の9月をメドに対策を立てる。

Q:市民の反対の強いボートピア習志野の白紙撤回を要求したい。道路公害対策はどうか。

A:当該施設の道路公害アセスメントは不十分であり、通行量、交差点における渋滞、大気汚染、騒音による被害は、住民が納得をするに不十分な点は今後も十分配慮したい。

Q:地域問題となっているビバ50の商業施設再建について。市民のために市の責任において、早期に解決の糸口を見出すよう要望し、市長は努力を約束した。

習志野市民の声

ボートピア習志野の白紙撤回を求める

Q:秋津・香澄住民や千葉工業大学の反対表明の声を無視した今回のボートピア習志野誘致に反対の立場から、一般質問を行った。

荒木市長の選挙をかねてから応援してきたと自負する秋津・香澄の住民の「失望と怒りと不信」の声を紹介した。

Q:首都圏経済にあって住民税の源泉徴収分が多い習志野市が、推計3億円の迷惑料収入のために、なぜ静かな生活環境を望む秋津・香澄の住民を苦しめ、落胆させるのか。26年間にわたって習志野市政と千葉県政に携わってきた私には理解できない。

Q:習志野市より税収環境が厳しい全国1782の市町村は、どんな教育・福祉予算で財政運営をしているというのか！

A:逐一質問し、それぞれ当局から答弁があった。

ならしの水と緑の会

いつまで続く？甘い現状認識と先送り体質

Q:行財政改革推進と財政健全化のための『（仮称）民間活力導入指針』について

A:民間委託、指定管理者制度の活用等、課長職による「改革推進リーダー会議」を設置し、策定作業を開始。

Q:職員数の適正規模とは？

人件費に含まれないパート職員の給与は4億6千万円。市職員の勤務時間週38時間45分を国家公務員並に週40時間に是正で人件費3%削減可。

A:平成19年度までに1500人体制実現を目標とする。

Q:市長等常勤特別職の調整手当は廃止すべき。

A:一般職も含め、国と近隣市の動向を勘案し、判断する。

Q:文化関係団体のNPO化支援について。

A:習志野第九合唱団の中間法人化について支援中。

Q:その他、道路行政、ゴミ、ボートピア問題について。

公職選挙法で政治家の寄附行為は禁止されています

○地域の行事やスポーツ大会への差し入れ
○町内会の集会や旅行などの催し物への寸志や差し入れ
○お中元やお歳暮　○お祭りへの寄附や差し入れ
○入学、卒業、就職祝　○落成式、開店祝の花輪
○病気見舞い　○葬式の花輪や供花

贈らない　求めない　受け取らない

市民の皆さま方の御理解をお願いします

また一つ増えた老後の安心
4月1日特別養護老人ホーム"マイホーム習志野"開設